

事業所での大規模クラスター 県の責任で広域的な対策を

県内の医療機関、高齢者施設、学校、飲食店などで新型コロナウイルスのクラスター発生が相次いでいます。とりわけ、船橋市内の物流倉庫業事業所でのクラスター発生は大規模です。この問題で、日本共産党の加藤英雄県議、みわ由美県議と、金沢和子船橋市議、神子そよ子船橋市議は11月5日、森田健作知事あてに4項目の緊急申し入れしました。

感染者が広範囲で大規模なケースは、県の責任ある対応が求められます

同クラスターは、中核市の船橋保健所が中心に対応していますが、3日現在、確認された感染者104人の居住地は県内14市、県外3自治体と広範囲におよんでいます。人数も習志野市27人、千葉市25人と、事業所がある船橋市15人より多くなっています。

明らかにされた従業員は非正規を含め約800人。うち約60人は未検査です。その中には連絡先が不明な方もいます。

クラスター対策担当の県職員1名が感染状況の分析などを行っているとのことですが、明確な対応方針は示していません。参加者は「事業所や各保健所任せでは感染拡大を抑え込むことは困難とならざるを得ない。県の責任で濃厚接触者中心でなく、無症状で感染力のある人を確認、保護する検査へと、抜本的に拡げる必要がある」と強調しました。

応じた石出広県健康福祉部次長は「保健所設置市の船橋市、千葉市の保健所や県所管の習志野、印旛の保健所との情報を共有し、必要なら県衛生研究所も協力して検査する」と述べました。



県への申し入れ（11/5県議会内）
右から、みわ由美県議、加藤英雄県議、
金沢和子船橋市議、神子そよ子船橋市議

◆◆ 申し入れ事項 ◆◆

1. 感染者が各地に広がったクラスターに対しては、県が責任をもって全体像を把握し、広域的な対策を講じること。
2. パート・アルバイト等非正規雇用を含める全ての労働者と、その家族、出入り業者などに対して、徹底したPCR等検査を県の責任で実施すること。
3. 全県的な検査体制を抜本的に大幅拡充すること。
4. 各保健所任せにせず、感染者の確認、保護、治療、感染防止対策等が適切に実施されるよう、情報伝達が困難な方への手厚い配慮も考慮し徹底すること。